

地域における金融リテラシーの向上（2019年度上期実績）

<金融教育>

・金融経済教育「出前授業」に全店で取り組み（北陸銀行）

7月から、ESG、SDGs推進の一環として、小中高校生はじめ若年層の金融経済教育を推進するため、全営業エリアの学校等に出向き「出前授業」を展開しております。若年層の金融リテラシーの向上を図り、将来の健全なマネーライフを支援し、持続可能な社会経済の発展に貢献していくことを目的としています。

営業店長が講師となり、お金の役割や計画的にお金を使うことの大切さを伝えるとともに、ライフプランについて考え、家計管理の大切さや資産形成の必要性、金融商品の種類や特徴、ローンのしくみなどについて学んでいただいております。



・「夏休み親子で銀行体験」を開催（北海道銀行）

8月、夏休み期間中に小学生を対象とした金融教育イベント「夏休み親子で銀行体験」を道内8店舗で開催しました。123名の子ども達が参加し、1億円の重さを体感したり、銀行でのお札の数を数える札勘体験を行い、楽しくお金や銀行について学んでいただきました。



・「ビジネスに活かす SDGs実践セミナー」の開催（北陸銀行）

9月、企業や事業主を対象に、SDGsへの理解を深めていただき、SDGsに資する活動やビジネスチャンス拡大につなげていただくことを目的として、富山市で「ビジネスに活かす SDGs実践セミナー」を開催しました。

第一部では「SDGsのポイントと活用事例」についての講演、第二部では「自分の仕事と地域の課題をSDGsの視点で考える」をテーマにワークショップを行いました。富山県・富山市・南砺市よりSDGsの取り組みと課題の発表を受けて、参加者は自社・自身の仕事とSDGsを紐づけて考え、グループに分かれて意見交換を行いました。参加者からは「SDGsに対する理解が深まり、モチベーションが上がった」「他業種の方とのグループワークが有意義だった」などのお声をいただきました。



・地方自治体向け「SDGsセミナー」を開催（北海道銀行）

10月、道内自治体の職員を対象とした「SDGsセミナー」を開催しました。本セミナーはSDGs有識者である外部講師を招聘し、SDGsの必要性や地方創生に絡めた取組事例などを紹介しました。今後も道内各自治体のSDGsを踏まえた政策策定や地方創生活動に貢献してまいります。



<資産形成・承継支援>

・「ご家族のための相続相談会」を開催（北陸銀行）

4月、「ご家族のための相続相談会」を富山市で開催しました。相続に関するご相談は年々増加傾向にあり、本相談会では、相続・遺言・贈与などに関してお客さまの個別のご事情に合わせて、税理士・北陸銀行所属のファイナンシャルプランナーがご相談に対応しました。

財産分配、事業承継、税金に関することなど様々なご相談を承り、お客さまからは「ブースが分かれているため周囲の目を気にせず相談できた」「一人で悩んでいたため話を聞いてもらえて良かった」「専門家の話を聞いて良かった」などのお声をいただきました。

なお、同相談会は7月に金沢市と福井市でも開催しました。

・お客さま向け「資産形成セミナー」を開催（北海道銀行）

毎月、お客さま向けに「資産形成セミナー」を開催しています。4～9月で190名のお客さまにご参加いただきました。人生100年時代を迎える上で必要となる資産形成の考え方について、多様なテーマでセミナーを開催し、お客さまに学びの機会をご提供しています。



・「資産づくりの第一歩応援キャンペーン」を実施（北海道銀行）

6月10日～7月30日、地域再生・活性化ネットワーク参加行9行との共同企画として「資産づくりの第一歩応援キャンペーン」を実施しました。

北海道銀行は、お客さまの資産形成ニーズに対して最適な提案を行い、お客さまの資産づくりを応援するものとし、9行それぞれが実施するキャンペーンにおいて抽選で各行500名（合計4,500名）に各地の特産・名産品（18種類）を集めたオリジナルカタログギフトをプレゼントしました。魅力ある企画を通じて投資信託や生命保険を活用した資産形成のきっかけづくりとなるよう取り組んでまいります。